

NPO法人北海道若年認知症の人と家族の会

(通称 北海道ひまわりの会)について

NPO法人北海道若年認知症の人と家族の会

NPO法人北海道若年認知症の人と家族の会は、北海道若年認知症の人と家族の交流・支援、若年認知症の理解促進、医療・介護制度の充実等を通じて地域社会の福祉の向上を図ることを目的に設立した任意団体「北海道若年認知症の人と家族の会(通称 北海道ひまわりの会 2006年9月24日設立)」の名称を変更し、2014年9月10日に設立しました。2018年2月現在会員総数 314名

設立 2014年9月10日
入会方法 所定の入会申し込み用紙に記載の上、会費を払う
年会費 ●会員 3,000円
 ●賛助会員 個人 1口 5,000円
 ●法人・団体等 2口以上
振り込み 郵便振り込みの場合 口座番号02790-1-66740
加入者名 NPO法人北海道ひまわりの会

〈事務所(ひまわりサロン)〉

(火・水・木10時~15時)

〒060-0003
 札幌市中央区北3条西7丁目-1
 緑苑ビル608号室
電話&FAX 011-205-0804
携帯 090-8270-2010

NPO法人北海道若年認知症の人と家族の会の主な活動

地域に若年認知症の方がいましたら、家族会のことをお知らせください。

■相談
 電話や面談、訪問などで相談を受けています。
 同じ家族どうし、気兼ねなくご相談ください。
〈相談日〉 週3日 火・水・木 10時~15時(事務所 ひまわりサロン)

■会報「ひまわり通信」の発行
 2ヶ月に一度、偶数月に発行しています。「つどい」など会の活動報告や、家族からのお便り、制度利用の情報などを掲載し、会員、医療機関やサービス事業所・行政などの関係機関に送付しています。

■関係機関と連携、話し合いをしています
 本人や家族が抱える問題の解決のため行政や関係機関、他の家族会と話し合いをしています。

■若年認知症北海道連絡会の事務局を担っています
 道内の若年認知症の家族会のネットワークをつくり、2017年10月に結成した若年認知症北海道連絡会の事務局を担っています。連絡会に加わっている家族会は、空知ひまわり・東胆振ひまわりの会・旭川ひまわりの会・北見たんぽぽの会です。

■「つどい」を開催し、交流・情報交換しています
 ○定例の「つどい」 奇数月の第4日曜日に開催。介護の情報交換、医師による認知症医療の話、サービスの情報やケアの工夫、運動やリハビリの実践などの学習・交流の他、年に1回バス旅行等を実施。
 ○ミニの「つどい」 偶数月には女性介護者のつどいと同伴の男性本人のつどいを開催。
 ○その他 男性介護者のつどいも随時開催。

■ひまわり塾
 サポーター会員と家族がつどい、テーマを持ち、共に学び交流しています。
月1回第2木曜日 18時半より

■介護体験報告など講師活動
 若年認知症の人や家族の理解が得られるよう、体験や要望を集まりの場で伝えています。

■ホームページ
 当会のホームページを作っています。「北海道ひまわりの会」で見ることができます。

■生活支援の手引きなど作成・普及をはかっています

家族が困っていることに対応し活用できるよう、家族の意見を聞き、サポーター会員と協働で作成し、家族ならびにケア従事者や関係機関に配布しています。

手引き三部作 関係機関の助成を得て作成

就労支援の手引き
 2015.3 発行 家族会
 共同募金助成
 家族会のホームページダウンロード可



若年認知症の理解のためのパンフレット
 2011.3 発行 北海道
 家族会執筆協力
 北海道のホームページダウンロード可



若年認知症の人と家族のサービス利用の手引き
 2016.3 発行 札幌市
 編集 家族会
 家族会のホームページダウンロード可



家族とリハビリのプロが考えた若年認知症の人の日常生活を支えるガイド
 2017.3 第2版 2017.9 発行 家族会
 定価800円



10周年記念 私たちの日々をつづる
 2016.9 発行 家族会 助成 さぼーとほっと基金
 定価300円



受診手帳
 2015.3 発行 家族会
 定価300円



わたしの体験

▶ サービス利用の手引きを使って

1回の受診に2万円かかり負担だったが、家族会で精神保健福祉手帳と自立支援の精神通院医療の手続きを教えて貰い、同時申請して随分助かった。ケアマネジャーも知らなかったの、伝えました。

▶ 日常生活を支えるガイドを使って

「日常生活を支えるガイド」を見て、口の広いコップが飲みやすいことや、茶碗の中に色がついているほうがご飯を認識しやすいとわかり、さっそく購入して使っています。

▶ 受診手帳

外来のとき、いつも手帳の複写1枚を渡しています。最近落ちつかなくなっていることを、本人が横にいても伝えることができるので助かっています。私の体調についても書いたら、先生から「それは調べてもらったら」とすぐアドバイスをもらえました。